



はじめに

L-ISA Processor 用 L-Acoustics Q-SYS プラグインは、ユーザーインターフェースやモニタリング機能を高度にカスタマイズする必要があるプロジェクトにおいて、QSC Q-SYS プラットフォームを用いて L-Acoustics のSRシステムを統合することを可能にします。

対応デバイス：L-ISA Processor、L-ISA Processor II

L-Acoustics Q-SYS プラグイン バージョン 1.3.1 は、Q-SYS Designer ソフトウェア バージョン 8.4.0. 以降に対応しています。

リリースノート (2024年6月)

新機能

QP-106	プロセッサを自動的に起動させる Auto Power On オプション を追加
--------	---

修正された問題

QP-115	複数の Q-SYS ネットワーク インターフェースが存在する場合、Power On コマンドが機能しないことがある
--------	---

公開リリースの履歴

- 2023年3月 - バージョン 1.3.0
 - Audiomorph 用のコントロールを追加
- 2022年12月 - バージョン 1.2.0
 - 音量とミュートの制御機能を追加
 - 音量とミュートのパラメーターに対する安全な設定呼び出しを実装
- 2022年11月 - バージョン 1.1.0
 - デザイン時プロパティではなく、実行時に IP アドレスを設定可能に
- 2022年3月 - バージョン 1.0.0
 - 初回リリース

互換性

デバイス互換性

L-Acoustics Q-SYS プラグインバージョン	L-ISA Processor最小ファームウェアバージョン	Q-SYS Designer最小バージョン
1.2.0、1.1.0、1.0.0	2.4.0	8.4.0

機能の互換性

機能	対応デバイス	最小ファームウェアバージョン	L-Acoustics Q-SYSプラグインの最小バージョン
マスターレベルとミュート	L-ISA Processor、L-ISA Processor II	2.5.0	1.1.0
電源オン	L-ISA Processor II	2.4.0	1.0.0
自動電源オン	L-ISA Processor II	2.4.0	1.3.1

L-ISA PROCESSOR 用 L-Acoustics Q-SYS プラグインのインストール

L-ISA Processor 用の L-Acoustics Q-SYS プラグインは、Q-SYS Asset Managerにおいて **L-Acoustics L-ISA Processor** という名称で提供されています。

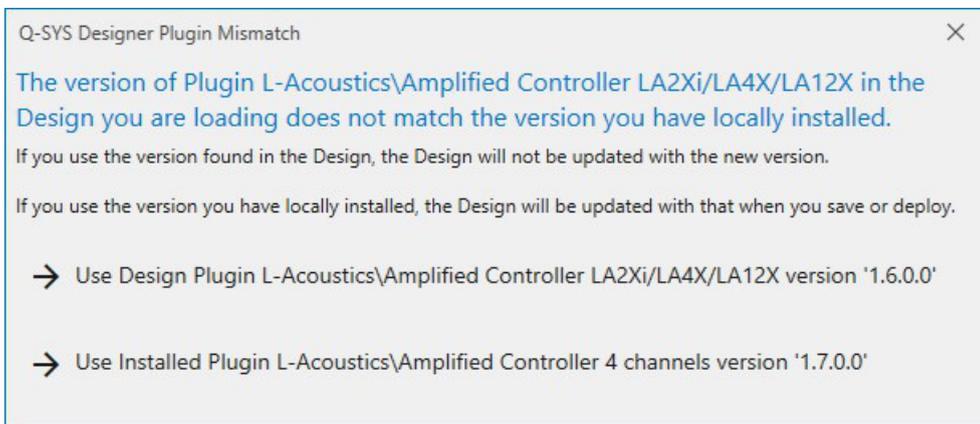
Q-SYS Asset Managerの **Version(バージョン)**、**Install(インストール)**、**Update(更新)**、**Remove(削除)** を使用して、ローカルの Q-SYS Designer プラグイン ライブラリ内のプラグインを管理してください。

既存デザインの更新

異なるバージョンのプラグインで作成された既存のデザインを開くと、Q-SYS Designer は、どのプラグインバージョンをこのデザインで使用するかを確認してきます。

プラグインが削除されていた場合でも、過去バージョンのプラグインを使用してデザインを保存することが可能です。保存時に、プラグイン全体がデザインファイルに含まれるためです。

確認画面が表示された際は、過去バージョンを使用する場合は「**Use Design Plugin (デザイン内のプラグインを使用)**」を、最新バージョンを使用する場合は「**Use Installed Plugin (インストールされているプラグインを使用)**」をクリックしてください。



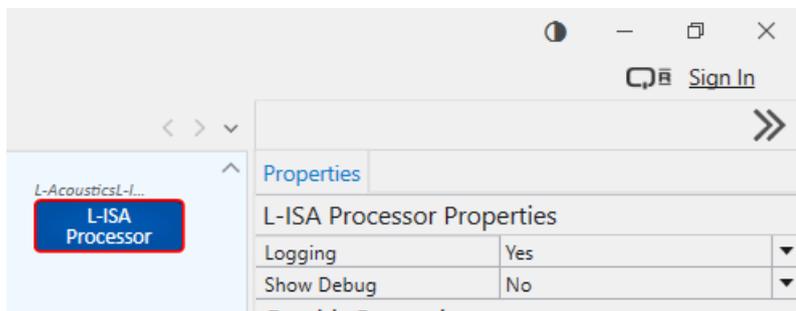
各新バージョンのリリースは、以前のバージョンとの下位互換性があります。

「**Use Installed Plugin (インストールされているプラグインを使用)**」オプションを選択した場合、そのデザイン内にあるプラグインのインスタンス数だけ、確認ダイアログが表示されます。これは Q-SYS Designer の仕様どおりの動作です。

! **Q-SYS Designer Plugin Mismatch (プラグインの不一致)** ダイアログが、Q-SYS Core ハードウェアに接続している状態で表示され、「**Use Installed Plugin**」が選択された場合、Q-SYS Designer 上のプラグインは最新バージョンにローカルで更新されます。ただしその後、「**Save to Core & Run (Core に保存して実行)**」を必ず実行して、Q-SYS Core 内部で動作しているデザインも更新する必要があります。これを実行しない場合、プラグインの動作が予測不能になる可能性があります。

コンポーネントの説明

プラグインを「**Schematic Elements (スキマティック要素)**」からデザイン画面にドラッグします。
デザイン内のコンポーネントブロックをクリックすると、その**プロパティ**が表示されます。



Logging ステータスメッセージをシステムログに記録する機能を有効／無効にします。

Control Pins 必要に応じて、コンポーネント上に表示するコントロールピンを編集するためのセクションを展開します。 **Control Pins** のツリーは、デバイスプロパティに応じて動的に更新されます。

ユーザーインターフェースの説明

コンポーネントをダブルクリックすると、ユーザーインターフェースが開きます。表示されるタブの内容は、コンポーネントのプロパティに応じて異なります。

デバイス タブ

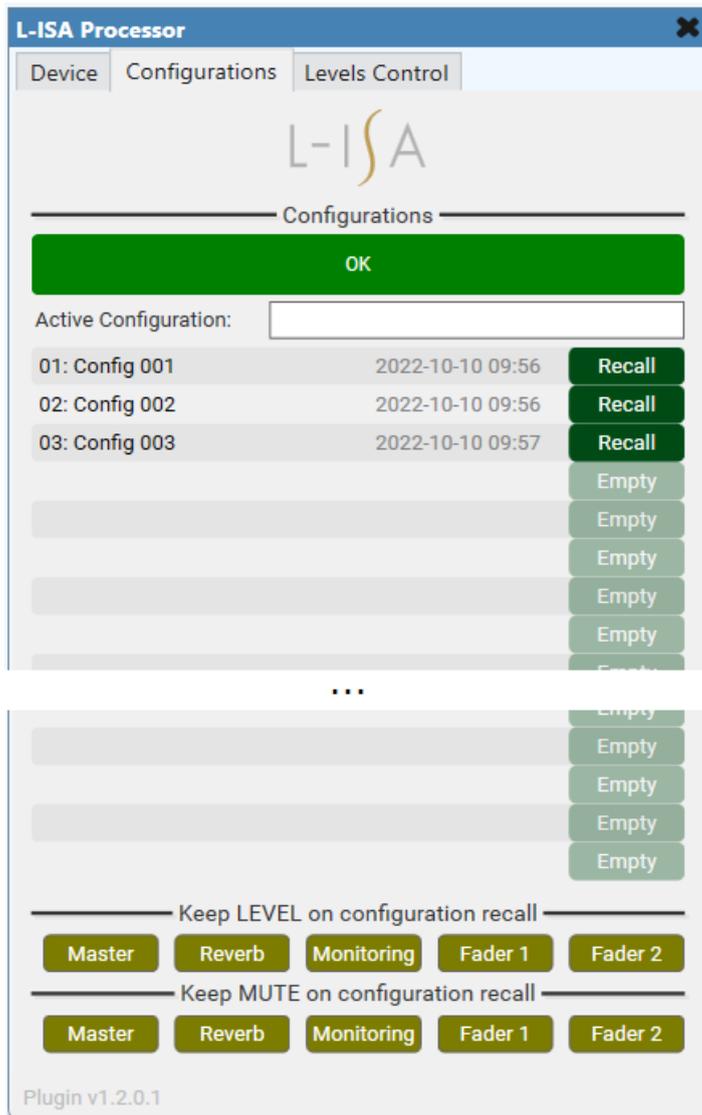


Device タブには、接続されている L-ISA プロセッサに関する一般的な情報と、その現在のステータスが表示されます。

初回の接続が成功すると、プロセッサの MAC アドレスが記憶され、「Power On(電源オン)」ボタンのロックが解除されます。

「Power On」および「Shut Down」ボタンは、L-ISA Processor II にのみ対応しています。

コンフィグレーション タブ



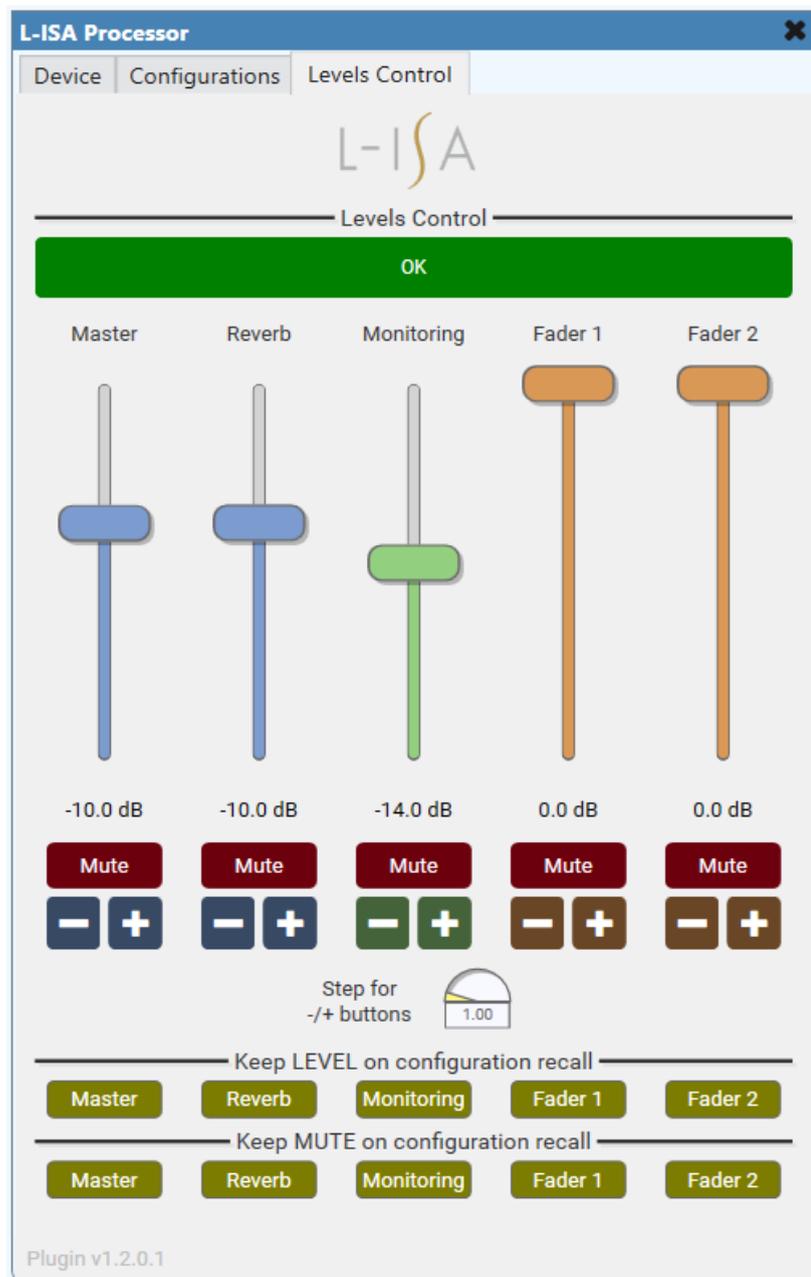
Configurations タブには、L-ISA プロセッサーで利用可能な構成のリストが表示されます。**Recall** ボタンまたはコンボボックスを使用して、構成を呼び出すことができます。

「**Active configuration**」コンボボックスを Snapshot Bank に追加すると、Q-SYS のスナップショットを使用して構成を呼び出すことができます。

「Keep」ボタン（黄色）を使用すると、構成呼び出し時に選択したレベルまたはミュートのパラメーターを固定でき、急激な音量変化を防ぐことができます。

L-ISA Controller が L-ISA プロセッサーに接続されている場合、構成の呼び出しはできません。

レベルコントロールタブ



このタブでは、L-ISAプロセッサのマスター、リバーブ、モニタリング、そしてユーザーフェーダーのレベルとミュートを操作できます。フェーダーを使用するか、[-]/[+] ボタンを使用してレベルを調整します。

「Keep」ボタン（黄色）を使用すると、構成呼び出し時に選択したレベルまたはミュートのパラメーターを固定でき、急激な音量変化を防ぐことができます。

著作権

QSC® および Q-SYS™ は、米国特許商標庁およびその他の国々において QSC, LLC の商標または登録商標です。

その他すべての第三者の商標、登録商標、製品名またはサービス名、ロゴ、スローガンは、それぞれの権利者に帰属します。